

## 読書界 6月テーマ 「ファンタジー」



『ドリームバスター』 宮部みゆき

1-1 伊藤志穂

「プロジェクト・ナイトメア」…私たちの住んでいる地球ではない別の星で、そんな実験がおこなわれていました。その実験は失敗してしまい、そのせいで地球に住んでいる私たちに「悪夢」が訪れてしまいました。そんな「悪夢」を捕らえるために、違う星から来た1人の少年と老人の名前は…。



『不思議の国のアリス』 ルイス・キャロル

1-1 大久保珠里

ある昼下がりのこと、チョッキを着た白ウサギを追いかけて大きな穴にとびこむとそこには…。有名な、「不思議の国のアリス」という物語です。これはアニメ化も映画化もされた作品の原作で、知っている人も多いと思います。ですが、原作はそのアニメや映画とは全然ちがう世界観を持っています。世界中で長年読まれているだけあって、話を知っている人も知らない人も、子どもも大人も、どんな人でも楽しめる作品です。



『名のないシシヤ』 山田悠介

3-7 小林雅和

“彼ら”には何もなかった。ただあったのは、自我と10歳児ほどの不老不死の体、そして、「人の寿命をカウントダウンとして見、変えることができるが、制限がある能力」だけ。そんな“彼ら”は長い間退屈な日々を送っていたが、ある日、後に大切な存在となる人たちと出会う。生まれて初めて、充実した幸せな時を過ごす“彼ら”。その日はずっと続くかのように思われた。しかし、1つの事件によってそれは終わる。急激に減りだす大切な人たちの寿命。危機的状況の中、“彼ら”がとった行動は…。これは山田悠介が描く、「運命と命」のストーリー。

